

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台 17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 5 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
開館等日（日）	307	289	269	264	263
延べ利用者数 通所（人）	2,734	2,867	2,623	2,272	2,111
前年度比（人）	△93	133	△244	△351	△161
前年度比（%）	96.7%	104.9%	91.5%	86.6%	92.9%
延べ利用者数 自主事業（人）	984	2,267	2,362	2,488	2,713
前年度比（人）	693	1,283	95	126	225
前年度比（%）	338.1%	230.4%	104.2%	105.3%	109.0%
利用料金 合計 通所（千円）	2,374	2,542	2,296	1,979	1,850
前年度比（千円）	△77	168	△246	△317	△129
前年度比（%）	96.9%	107.1%	90.3%	86.2%	93.5%
利用料金 合計 自主事業（千円）	2,006	2,225	2,328	2,765	2,060
前年度比（千円）	1,135	219	103	437	△705
前年度比（%）	230.3%	110.9%	104.6%	118.8%	74.5%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 入	指定管理料	13,287	13,640	13,927	13,791	13,735
	利用料金収入	2,374	2,542	2,296	1,979	1,850
	自主事業収入	2,006	2,225	2,328	2,765	2,060
	収入計	17,667	18,407	18,551	18,535	17,645
支 出	人件費	10,646	10,604	10,210	9,955	9,333
	維持管理経費	5,361	5,156	5,244	5,498	5,011
	自主事業関係経費	4,425	2,624	2,225	2,174	1,695
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	20,432	18,384	17,679	17,628	16,040
収支(収入-支出)		△2,765	23	872	908	1,606

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
利用者の満足度の把握で、アンケートの実施をしています。アンケートの結果からコーディネーターが活動を考え、利用者の満足度を高めると共に信頼感や日々変化する利用者の要望に対応しています。常に利用者へのコミュニケーションを大切にしています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
昨年度、周知活動で健康の集いに参加させて頂いた折りにお客様から、初心者麻雀教室を開講してほしいと要望があり、今年度より広報に掲載し開講しました。 通所事業では、利用者アンケートを実施し、すぐにその要望を取り入れセンターに来るのが楽しみ、次回はどんな事をしてくれるのかと、期待や生きがいになっていると嬉しいご意見を頂戴しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
通所事業では、利用者のニーズを取り入れ、昼食作り、買い物ツアー、野菜作りなど新しいプログラムにも力を入れました。社会資源としてボランティアの演芸や音楽セラピーも取り入れ、脳トレ体操、口腔体操も積極的に行い、体力の向上に努めました。 自主事業は、徐々に周知されています。大型企画の麻雀大会、中条かおる一座夢舞台も大人気で利用者から好評でした。また利用者同士のコミュニケーションの場としても活用されています。認知症カフェ「はなみずき」も継続し、今後も地域の方が楽しめる交流場として活動していきます。 介護学院では、東京都の介護職員初任者研修資格所得支援事業を継続して受託し、充実した講義と実技演習を行うことができました。修了者の満足度も高く就労支援も行いました。今後も市民の方の資格取得の促進に力を入れていきます。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
光熱費に対しては、利用者が帰宅後こまめに電気を消したり、エアコンの設定温度を適正に保ち節電を試みました。水道も外掃除の時などバケツを使用し節水にも心掛けました。 通所事業では、送迎ルートを確認しガソリン代の節約を心がけ、活動の材料など不用品の寄付を頂き、活用させていただきました。 常勤職員、パート職員とも残業が増えないように業務の内容を再検討しました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業では地域柄介護施設のイメージがあり、自立の施設であり、市民の皆様の交流の場として活用していただけるよう周知を行っていきます。担当エリアの自治会を廻ったり、利用者へのロコミや宣伝をお願いしたり、自主事業の利用者への声掛けを心掛けて、地域への周知度や信頼度を得た為通所人数の減少が抑えられました。今後も継続して周知活動に力を入れ一人でも多くの市民の方に利用して頂きます。 自主事業では市民の意見を反映して、初めての麻雀教室の講座を開講しました。今後も利用者の生きがいや楽しみを与えられるようなセンターの運営を目指していきます。

引き続き収支の適正化に努めて参ります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
利用者の満足度の把握のため、アンケートを実施し、日々変化するニーズに対応するよう努めており、利用者の希望に合ったセンター運営ができています。通所事業の利用者は減ったものの、利用者の要望を取り入れた自主事業を実施したことにより、新規参加者を増やすことができました。その結果自主事業の利用者が増えたことは評価できる。	
経費削減の取組	
光熱水費の削減やガソリン代の節約、不用品の寄付等の成果もあり、昨年度に比べ、維持管理費を1割近く削減することができています。引き続き、事業に支障が出ない程度の経費削減に努めていただきたい。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業の利用者数が減少しており、利用者の確保に課題がある。自主事業に関しては、新規講座等を行い、利用者数の増加に繋がった。今後も引き続き啓発・広報活動を実施し、利用者数の増加に努めていただきたい。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。